

水をつくり届ける

豊橋市上下水道局

「朝起きて顔を洗った水やトイレの水はどこに行くのだろうか？」と考えたことはありませんか？



豊橋市が管理している処理場で最も大きな中島処理場

です。

川や井戸から来た水道水は、私たちの家庭や工場に使われ、川や海にもどりと、水は循環されます。だから使った汚れた水は、下水道施設によってきれいにしてから自然に返すことがとても大切なことです。

下水道とは汚れた水を、道路の下に埋めてある下水道管に流し込み、

ます。

国内でも早くから下水道を造ってきたため、豊橋市の下水道管や下水処理場は古くなって傷んできています。そこで、これからも下水道を使い続けられるように、下水道管をよみがえらせる工事や下水処理場のメンテナンスなどを進めています。

市民の皆さんには道路

で守り、昼も夜も汚れた水をきれいにし続けてい



水処理施設と職員

④ マンホールの下に広がる世界

下水処理場まで運び、水をきれいにして川や海に返す仕組みのことです。

豊橋市の下水道は、1931（昭和6）年に工事を始め、35年に野田処理場の運転を始めました。国内4番目。それ以来、下水道を使える区域を広げ、併せて下水処理場を建設し、今では約30万人の豊橋市民が下水道を使えるようになってい

にあるマンホールのふた

しか見えませんが、家の洗面所では手を洗った水が排水口に流れ込んでいくところまでしか見えませんので、普段の生活で下水道について意識することはほとんどないと思います。豊橋市上下水道局は、空気と同じように当たり前、皆さんの生活を支えている下水道を見えないところで頑張っ

ます。

次に、汚れた水をきれいにして、川や海に戻している下水処理場の仕組みについて紹介します。下水処理場では、大きく分けて①沈殿処理②生物処理③沈殿処理及び消毒の3工程できれいにしています。①は、流れついた汚れた水を単純に分離する工程で、沈みやすい砂や汚れを取り除きま

す。②は水に溶けた汚れた微生物の力を借りて汚れを取り除く工程です。

③は、きれいな水と微生物の塊を分離します。このきれいな水を消毒し、川や海に戻しています。

このように下水道があると、使った水がすぐに下水道管に流れ、汚れた水が家の周りにたまらず、ハエや蚊の発生を防ぎ、住みよい環境を守るのに役立っています。そして、下水処理場で汚れた水をきれいにするので、海や川が汚れるのを防ぎ、豊かな自然環境を守ります。